

科目名	HSS201: リベラルアーツ A			担当教員	丹木 博一	
開講期	春	開講時限	集中講義 (オンデマンド)	研究室	4214	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2	オフィスアワー 履修要覧 P.19を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。				2-①
キーワード	他者に対する責任、ケアと愛、協力と友愛、危機への対応、出会いと別れ、人生の意義					
授業の概要	東西の現代文学に親しみ、筆者が読者に対していかなる問いかけを行なっているかを理解し、その問いへの回答を模索することによって、自身の人生観をより豊かなものに鍛え上げていく。					
達成目標 (授業の目的)	サン=テグジュペリと村上春樹のテキストに耳を傾け、作品に親しむとともに、作品からどのようなメッセージを読みとることができるかを吟味検討し、そこから得た自分の考えを分かりやすく表現できる。聞いて考え、理解したことを整理してまとめるといった一連の作業を通して、自分自身の人生観を見つめ直し、より豊かなものにすることができる。					
到達目標 (学修成果)	①文学作品の世界に入り込み、作品からいかなるメッセージを読み取ることができるかをていねいに考察し、考察した内容を分かりやすく筋道立てて表現できる。 ②文学作品を通して「他者と共に生きる」という課題を自分自身の自己実現の可能性として受けとめ、その理解内容を分かりやすく説明できる。					
評価方法	①リアクションペーパー (28%) ②事前課題 (36%) ③レポート (36%)					
評価基準	①リアクションペーパー: 授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること (2%×14回=28%)。 ②事前課題: テキストを視聴し、テキストに関する教員の問いに対し適切に回答できること (3%×12回=36%)。 ③レポート: サン=テグジュペリ『星の王子さま』もしくは村上春樹「かえるくん、東京を救う」のいずれかを選び、その作品についての自身の解釈を1,600~1,800字で分かりやすく叙述できること (36%)					
課題等に対するフィードバック方法	・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers					
準備学修の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	本講義についてのガイダンス サン=テグジュペリの生涯と著作について	オンデマンド講義 リアクションペーパー	『星の王子さま』の音声テキストを聞き通す。
2	『星の王子さま』を理解する 第1回 語り手と王子との出会い	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、回答を記し、提出する。
3	『星の王子さま』を理解する 第2回 さまざまな星を訪問した王子の報告	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、回答を記し、提出する。
4	『星の王子さま』を理解する 第3回 王子とキツネの出会いとバラの花への思い	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、回答を記し、提出する。
5	『星の王子さま』を理解する 第4回 砂漠の中の井戸探しと王子との別れ	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、回答を記し、提出する。
6	本講義の後半についてのガイダンス 世界の中の村上春樹について	オンデマンド講義 リアクションペーパー	「かえるくん、東京を救う」のテキストを読み通す。
7	「かえるくん、東京を救う」を理解する 第1回 かえるくんの不意の訪問と依頼	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、回答を記し、提出する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	「かえるくん、東京を救う」を理解する 第2回 みみずくんの暴力との戦い	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、 回答を記し、提出する。
9	「かえるくん、東京を救う」を理解する 第3回 地味で危険な仕事の受諾と狙撃	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、 回答を記し、提出する。
10	「かえるくん、東京を救う」を理解する 第4回 病室でのかえるくんとの再会	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、 回答を記し、提出する。
11	村上春樹の視線を通して『星の王子さま』 を読み直す 第1回	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、 回答を記し、提出する。
12	村上春樹の視線を通して『星の王子さま』 を読み直す 第2回	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、 回答を記し、提出する。
13	サン=テグジュペリの視点を通して「かえる くん、東京を救う」を再読する 第1回	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、 回答を記し、提出する。
14	サン=テグジュペリの視点を通して「かえる くん、東京を救う」を再読する 第2回	オンデマンド講義 リアクションペーパー	事前に提起した問いに対し、 回答を記し、提出する。

<p>その他 特記事項</p>	<p>Moodle にテキストと音声付パワーポイント資料を掲載する。</p>
---------------------	--

科目名	HSS301: 言語・文学トピック A			担当教員	山本 浩	
開講期	春	開講時限	集中講義 (オンデマンド)	研究室	4212	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤
キーワード	英語の史的理解、標準英語と多様な英語、英語と階級・文学・宗教・政治・メディア					
授業の概要	英語の歴史的变化を扱ってゆく。中心的な問題は、古英語、フランス語の流入と中英語への変化、中英語による作品、印刷技術の発達、近代英語の発達とシェイクスピアの英語、近現代の英語、英語と階級、アメリカ英語を扱う。					
達成目標 (授業の目的)	古英語、中英語、近代英語、現代英語の特徴を理解し、語彙、文法、発音等の身近な問題について歴史的観点から理解することを主な目的とする。英語史に必要な用語・概念を英語で理解し、英語による文献読解力を身につける。そして英語の発達を英国史と繋げる視点と知識を得る。					
到達目標 (学修成果)	英語という言語内の個々の単語、文法、表現を、それらの背後にある歴史的事象等と密接に結びつけ、言語を重層的に理解出来るようになる。英語史発展と関連が深い英国史の事象についても基本的知識を持つ。英語文献の正確な理解を、語彙、文法、文章構造の理解等と共に出来るようにする。					
評価方法	授業参加：50% 課題：50%					
評価基準	授業参加：リアクション・ペーパーをとおして、授業内容を積極的に理解しようとしていたかを見る。 課題：古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかを見る。					
課題等に対するフィードバック方法	提出物にコメントをつけて E-mail で返却する					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
2	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
3	古英語の特徴	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
4	ノルマン征服と中英語	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
5	中英語の特徴	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
6	大母音推移と印刷術の発達	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
7	チューダー朝と宗教改革	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
8	聖書の英語訳	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
9	近代英語の始まりとシェイクスピア	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	英語の規範化	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
11	イギリスの階級	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
12	英語と階級	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
13	英語の方言	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する
14	イギリス英語とアメリカ英語	パワーポイントを使用した講義動画を視聴する	リアクション・ペーパーと課題の提出をとおして復習する

<p>その他 特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Moodle に講義動画と講義資料（Power Point 資料）を掲載する。 ・ リアクション・ペーパーと課題は Google Forms によって提出する（提出する Google Forms の URL は Moodle に示す。
---------------------	--

科目名	HSS302: 言語・文学トピック B			担当教員	永野 良博	
開講期	春	開講時限	集中講義 (オンデマンド)	研究室	4218	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2	オフィスアワー 履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤
キーワード	現代アメリカ小説、小説研究の基礎、小説が示す社会・歴史問題へのアプローチ、英文読解					
授業の概要	20世紀後半の実験的なアメリカ小説を研究するための基礎を学ぶ。対象となる作品はカート・ヴォネガット『スローターハウス 5』、ジョン・バース『旅路の果て』、トマス・ピンチョン『競売ナンバー49の叫び』、ドン・デリロ『ホワイト・ノイズ』である。主に小説が現実を再構築する様に注目しながら、社会・歴史問題と対峙する自己と想像力の在り方を検証する。代表的な問題は、戦争と自由意志、相対主義的世界に在る主体的個人、社会の主流派と少数派との関係の再考、リスク社会での生と死である。小説の英文理解にも重点を置く。					
達成目標 (授業の目的)	小説の内容をまとめて解説した資料に基づいた講義を視聴し、小説研究に必要な基礎的知識・技能を修得する。特に支配的イデオロギーに基づく現実への批判と新たな現実の構築、対抗文化の影響下での社会・歴史問題へのアプローチ、比喩表現を含む特殊な文体、断片化の傾向を示す物語構造等について理解を深め論じるための用語や概念を使えるようになる。作品が提示する問題を各自が発展的に論じることが出来るようになる。また原文の抜粋を読み、比喩的で重層的な英文に慣れ親しむ。					
到達目標 (学修成果)	小説が提示する様々な問題を理解し、自らが理解した事柄について論述することが出来るようになる。またそれらの諸問題について自ら発展させた考えを論述することが出来るようになる。小説の原文の指定された箇所について、語彙、文法、構文等の問題を含め英語で理解することが出来るようになる。					
評価方法	授業参加 (60%)、期末課題 (40%)					
評価基準	「授業参加」については、講義 (録画資料は Moodle で共有) に関する課題を作成し、そこで講義内容の正確な理解を示し、論理的かつ明晰な文章で論述することが求められる。同時に英語に関する課題を作成し、そこで授業で扱った英文の語彙、文法、構文等に関わる正確な理解を示すことが求められる。「期末課題」では、授業で扱われた問題に関して論述し、発展的な意見を構築し、それを論理的かつ明晰な文章で示すことが求められる。					
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ Moodle で行う。 ・ 提出物にコメントをつけて返却する。 					
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	【K. ヴォネガット『スローターハウス 5』】 第二次世界大戦のトラウマと時間旅行	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴 (録画資料は Moodle で共有)
2	時間と死の概念、決定論と自由意志、宇宙の終末、予定説	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴
3	ドレスデン爆撃の記憶、妻の不条理な死、空想科学小説、自己と世界の再創造	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴、課題を Moodle に提出
4	【J. バース『旅路の果て』】 自己喪失、選択不可能状態	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴
5	相対主義的世界に関する議論、個人の価値観と一貫性、個人の独自性、真正なる個人	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴
6	姦通、精神療法、原因の飽くなき探求、自らの行動に対する責任、主体的行為者	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	主体性を持つことの困難さ、生と死に関わる主体的決断、崩壊へ	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴、課題を Moodle に提出
8	【T. ピンチョン『競売ナンバー49の叫び』】 囚われの女性、塔と虚空、通信システム	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴
9	歴史の闇、周辺性、変化するアメリカ社会、エントロピー、マックスウエルの悪魔	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴
10	別世界のこの世界への侵入、疎外された人々、相続権を失いし者の組織、啓示	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴、課題を Moodle に提出
11	【D. デリロ『ホワイト・ノイズ』】 富、消費、リスク、死	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴
12	テクノロジーと環境汚染、メディア社会の媒介された知覚とオーラ、化学物質の雲	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴
13	畏怖と崇高美、死の恐怖を取り除く薬、復讐、疑惑ある許しの行為	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴、課題を Moodle に提出
14	リスク、専門知、危機の物語 〈講義全体のまとめ〉	オンデマンド録画資料を通して学習	講義視聴、期末課題を Moodle に提出

<p>その他 特記事項</p>	<p>Moodleに講義動画を掲載する。 Moodleの課題提出機能を通して課題を提供する。</p>
---------------------	--

科目名	HSS303: 社会科学トピック A			担当教員	狩野 晶子		
開講期	春	開講時限	集中講義 (オンデマンド)	研究室	4203		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤	
キーワード	第二言語習得、英語教育						
授業の概要	このコースでは、言葉の学びに焦点を当て、第二言語習得理論と英語教育に関し、文献と実践例を組み合わせて深く学習する。先ず子どもの言語習得の理論についての文献を読み、実際の実践事例の映像を視聴することによって具体的に理解し、多角的に考察する。オンデマンド形式で Moodle を活用し、各自が個別課題に取り組む。						
達成目標 (授業の目的)	この授業では、第二言語習得理論と早期英語教育の理論と実践に照らし、子どもの言語習得について実践例を通して理解し概要を説明できるようになることを目指す。さらに、この授業では、子どもの言語習得過程に関して学ぶことで、学生自身の英語学習に対する洞察を深め、学生自身が自律的な言語学習者を目指すための道筋を提示する。						
到達目標 (学修成果)	学生は、第二言語習得理論と早期英語教育について、理論と実践を根拠とした説明ができるようになる。学生は、第二言語習得と早期英語教育の文献、事例や動画映像から指導手法を見出す力を身につけ、言葉の学びの構造を具体的に理解し、多角的に考察分析できるようになる。さらに学生は、自身の英語学習に応用可能な視点を獲得できるようになる。						
評価方法	毎回の Moodle 上の提出課題 (要約・設問・リアクションペーパー等) について、以下の基準で評価する。①内容の理解度 (30%)、②期限までに提出されたかどうか (20%)、③課題の完成度・考察力 (30%)、最終レポート (20%)。						
評価基準	毎回の Moodle 上の課題 (要約・設問・リアクションペーパー及び内容理解確認の小テスト等) について、①講義動画について内容を十分に理解していること。②期日を守っての提出がされていること。③課題が丁寧に指示に沿って完成されていること、内容についてよく調べ表面的で無いこと。④最終レポートは、コース全体の内容に関して、理論と実践の理解と考察を記していること。						
課題等に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ Moodle で行う / Moodle ・ 上記以外で行う / other: 						
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	第一言語と第二言語の言葉の習得の違い	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
2	第二言語習得理論の基礎	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
3	インプットとインタラクション	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
4	日本における学校英語教育	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
5	言語習得環境としての家庭・地域の役割	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
6	音声指導と多感覚的アプローチ	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
7	英語教材の活用と英語絵本	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
8	TBLT とフォーカス・オン・フォーム	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	CLIL と日本の英語教育	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
10	日本の英語教育の現状と課題	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
11	習得の個人差と多様性	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
12	第一・第二言語習得と評価	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
13	習得理論の応用とまとめ	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する
14	自身の学びの振り返り・第二言語習得理論の応用と展望	資料を読む、講義・解説動画視聴、設問回答	Moodle で資料を読み動画視聴をし、課題を提出する

その他 特記事項	<p>Moodleに資料、講義・解説動画を掲載する。 学生はMoodleに記載された手順と指示に従って資料を読み、講義・解説動画を視聴し、内容を理解したうえで設問に回答する。設問にはリアクションペーパーやレポート等の課題も含まれる。 内容を理解し課題を提出し、各自で復習。予習を行うこと。</p>
---------------------	--